

札幌医科大学との包括連携協定に基づく 大学附属病院 小児科病棟への絵本『二平方メートルの世界で』寄贈のご報告

当金庫と北海道公立大学法人 札幌医科大学は、平成25年に包括連携協定を締結しており、以来、同大学の建学の精神でもある「地域医療への貢献」をともに実践するべく、「メディカルカフェ」や「大地みらい移動医科大学」など、根釧地域の医療向上を目的とした連携事業を毎年実施しています。

この度、連携の一環として、当金庫よりコロナ禍で入院中の子どもたちに少しでも元気になってもらいたいという想いを込め、絵本『二平方メートルの世界で』（文/前田 海音 絵/はた こうしろう）30冊を札幌医科大学附属病院小児科病棟へ寄贈させていただきました。

この絵本は、作者の前田さんが、札幌医科大学附属病院の小児科病棟に入院されていたときのエピソードをもとに書いた作文が、北九州市主催の「子どもノンフィクション文学賞」大賞を受賞し、絵本作家のはたさんとのコラボレーションによって絵本になったものです。

2021年7月7日（水）に寄贈式を行い、札幌医科大学の塚本学長様と大学附属病院の工藤看護部長様、野口小児科病棟師長様へ、遠藤理事長よりお渡ししました。



絵本『二平方メートルの世界で』

第11回子どもノンフィクション文学賞
～小学生の部 大賞受賞～

札幌の小学5年生、前田 海音さんが3年生の時に書いた作文を元にした絵本です。

海音さんは病気の治療のため、札幌医科大学附属病院の小児科病棟に3歳のころから入退院を繰り返しています。入院中、海音さんがたまたまいつもと頭の向きを変えてベッドに横たわると、ベッドのオーバーテーブルの裏に子供たちの落書きがたくさんあることに気がつきました。「再手術サイテー」「ママに迷惑かけちゃってる、ごめんね」……絵本の中では、今まで同じベッドで入院してきた見知らぬ子どもたちの言葉を見つけた時の思いや、入院中の孤独感、家族に対する気持ちなどがつつられています。



文・前田 海音/絵・はた こうしろう
定価：1,650円（税込）
AB版上製オールカラー、40ページ
2021年4月20日発売（小学館）